

## 第26回ゴミパイプライン協議会

会議名	:ゴミパイプライン協議会
開催日時	:2019年8月24日(土) 10:00~12:00
場所	:芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会より	:山口委員長, 友田副委員長(司会進行), 春木委員, 三浦委員, 大田委員, 木寺委員
市より	:森田部長, 藪田課長, 尾川係長, 林課員
傍聴者	:1名

○**利用者の会** 皆様、おはようございます。第26回ゴミパイプライン協議会を開催させていただきたいと思っております。本日の進行役は友田でございますので、よろしくお願いいたします。

本日の資料は1から7までございますので、皆さん、お手元にあると思っておりますが、よろしくお願いいたします。

それでは、早速、本日の議題1、パイプライン運転報告について、資料1に関しまして林さんから御説明をお願いいたします。

○**市** おはようございます。芦屋市の林です。

議題1といたしまして、毎回報告させていただいておりますパイプラインの運転報告について説明したいと思います。

資料といたしましては、資料1、表面にパイプライン運転報告、裏面に利用者からの連絡対応、その下に、巡回及び定期点検で発見された不具合等を記載しております。

利用者の会の方からの御要望で、レベルをA、B、Cでつけさせていただいておりましたが、前回、そのA、B、Cの振り分けの内容を書いてくれということがありましたので、裏面の一番下のところに、A、B、Cの作業目安を記載させていただいております。Aに関してはセンターにおいて遠隔操作で回復したもの、Bについては現場で作業をして回復したもの、Cについては重大なトラブルで2日以上回復に費やしたもので記載させていただいております。

表面をごらんください。こちらは、前回の報告からの分で、6月11日から8月16日、67日間の分で記載しております。

まずは発生した時刻です。32件中20件が夕方も含めた定時運転中に発生しております。

また、作業内容につきましては、全32件中16件が現場に行かなくてモニターで復旧したものの、先ほど言ったレベルAになります。

済みません、資料が間違えています。レベルCと書いてあるものがAです。申しわけございません。全て間違いです。済みません。レベルCと書いてあるのがAで、Aと書いてあるのがCになります。申しわけございません。

○利用者の会 CとAとが逆。

○市 はい、逆です。申しわけございません。

○利用者の会 これ、C、B、Bと書いてあるのが、Cと書いてあるのがA。

○市 Aです。済みません。

○利用者の会 そう。何ちゅうこっちゃ。

○市 またホームページに上げる際には修正して上げさせていただきます。申しわけございません。

○利用者の会 全部か。

○利用者の会 全部らしいわ。

○利用者の会 Aと書いてあるのが。

○市 今回、連続で発見されたトラブルがありましたので、それを報告させていただきます。一番左側のナンバーで言いますと、17番、20番、21番、22番、28番。これは新浜町にあります03113という投入口で、場所的に言いますと打出浜小学校の中にある投入口になります。こちらの投入口に関しましては吸気弁の異常が多発しておりまして、初めにあったナンバーで17番、20番、3回目の21番目で現場に行きまして、清掃等を行っておりましたが、何度やっても復旧しなかったので、高砂の大阪の支店へ連絡をしまして、いろいろ調査したのですが、弁の開閉のときに正位置に戻らないという今までになかったような現象が起きていました。それに対して、高砂に復旧案を出していただきまして、今使っていない投入口の、投入口番号ですと5131、高浜町にある阪急バスの投入口ですけども、そこの吸気弁を移設できないかと検討しております。マンホールからの搬入になりますので、それが実際できるかどうかと、今、検討中です。打出浜小学校には、夏休み期間ですが、対応を検討中だと説明しております。

このトラブルではないのですが、別の投入口でもスクリー型の方で異音が発生しているというのを受けておりまして、それについても高砂と製造メーカーに、調査、復旧方法を、今、どのように補修をしようかと検討しています。

続きまして、ナンバーで言いますと27番。これ、レベルAと書いているのですが、レベルCのことになります。これは、この後で説明させていただきますが、パイプラインの停止に関係する、これが初期の故障になります。27番です。

○利用者の会 ナンバー27。

○市 はい。浜風町の3051、排出弁、閉異常、システム停止。この開閉が、開閉異常のとき、通気運転、その後、行ったのですが、全然現場で圧力を感じないということで、その後、停止になっていきました。

続きまして裏面をごらんください。

○利用者の会 停止になっていきました言うて、だめやということ。

○市 はい。後ほど前のほうで、どのような停止状況かは説明させていただきます。

○利用者の会 今もだめ。

○市 今は復旧しています。

○利用者の会 復旧している。

○市 はい。

裏面の利用者からの連絡対応について説明させていただきます。

今回につきましては、誤投入が2カ月間で1件起きております。現場の人に聞くと、ウエストポーチを間違えて捨てられたそうです。搜索したのですが、見つかりませんでした。また、鍵穴開異常が15件中3件ありました。

また、右から2つ目の住民起因のところ、それ、印をつけることになっておりまして、今、説明させていただきました誤投入1件と、鍵穴開異常3件、計4件に印をつけさせていただいております。

その次、一番下の巡回及び定期点検で発見された不具合点等に関しましては、仮補修が2件、あと、電気錠のマイクロスイッチの交換等、ごみの放置が1件ずつございました。

続きまして、先ほどのパイプライン運転報告の停止の件につきまして、前のパワーポイントで説明させていただきます。

先ほどの浜風町でありました27番のときで、その後、停止になったのですが、場所的に言いますと、先ほど説明し3051の投入口で閉異常が発生しまして、その後、現場とセンターで通気運転を行いまして、どこまで圧力があるか調査すると、ちょうど赤いラインのところ閉塞が確認できましたので、この投入口でいいますと3051から、こ

ちら、丸い点の点検口の1経路に、この間で閉塞が確認されました。発生としては、8月9日、金曜日に閉塞確認し、通気運転で閉塞場所の特定作業を行い、カメラ調査をその日のうちに行いました。翌週の13日、火曜日に洗浄作業を行い、その次の日、14日、水曜日に通気運転を行い、復旧しております。

今回、場所が特定できましたので、カメラ調査の状況としては、3051の投入口からカメラを入れたときに、輸送管の下にごみが堆積しておりまして、運転ができない状態になっておりました。ここだけ見ると、管の上のほうは空いているのですが、ごみが下にありましてカメラが全然進まない状況でした。管の中に入った方に聞くと、こういったごみが輸送管内で山になって、3個ぐらい山があつて、それで空気が行き届かなかったんじゃないかと聞いております。そのごみの先頭には、前回みたいに教科書などがあつたわけではなくて、こんな原形をとどめないごみがたくさんあつたと聞いております。現在は通常運転を行っております。

○利用者の会 これ、すだれとか入れているのですか。

○市 すだれ。

○利用者の会 すだれ。

○利用者の会 すだれです。浜風の住民の人に聞いたら、すだれを折りたたんで捨てたという話をされていたのですけども。

○市 そうなのですか。

○利用者の会 実際はどうなのですか。関係ないのですか。

○市 そうですけど、その復旧の中で多分それが出てきた。多分そのすだれという形で出てきたのかわからないですけども、その棒の何個かは出てきたのか、それは、聞いていませんね。

○利用者の会 これはもう、そしたら、特定の何かが詰まっていたわけではない。

○市 そうです。前みたいに、ごみの先端に教科書があつたとかいうわけではなくて、それ以上にカメラが進まなくて、こういった写真の下の部分、こちらに濡れたごみとかが下に堆積、もうへばりついていて、それが輸送管の中で何個か山があつて、結局、その2次側に空気がいかなかったという状況になります。

○利用者の会 何らかの原因がね。

○市 そうなのです。何らか原因がわかれば、私たちもこれというのは。

○利用者の会 そやから、住民の人らがすだれと違うか言うたら、すだれの可能性はある

わね、それ。可能性は。

○市 可能性。

○利用者の会 写真を張られたということはなかった。

○市 写真ですか。

○利用者の会 詰まったところの、投入口のところに。

○市 今回、特定できないので、写真等は張っていない。

○利用者の会 張ってない。

○市 はい。

○利用者の会 別の話やな、ほんだら。

○利用者の会 その考えによったら、比重の差で、一番先頭にあるのが比重の。

○市 軽いもので。

○利用者の会 いや、重たいやつで。

○市 重い。

○利用者の会 後ろのほうの軽いやつで、ばんと引っ張ったら、こっち遅いよね。ほんで、後ろのほうの軽いから、ばーとこっちにかかってきてという可能性は、あると言えばあるけどね。

○市 そうですね。

○利用者の会 そやけど、これは、住民の人が、すだれ、これを見たと言うたら、すだれの可能性はあるのや。ゼロではない。

○市 ゼロではないですね。

○利用者の会 これは。

○市 続きまして。今、通常運転に戻っているのですが、もう一カ所は、21日、水曜日、今週の終わり、また閉塞が起きております。場所的に言いますと新浜町のラ・ヴェール内。こちら通気運転等を行って、場所の特定まではしております。この赤いラインのところ閉塞が起きております。それ以上先の、この主管の部分、ラ・ヴェールの前の道は運転できております。こちらは正常に戻っております。

こちらについては、復旧を行うために洗浄作業の日程の調整等を行っております。

こちら、ちょうどラ・ヴェール内の点検口から目視で、カメラで撮った写真で、ちょうどこの点検口1G-2-1から、こっち、上流側と下流側の写真を載せております。輸送管内、湿ったごみの中で閉塞をしております。

こちらにも置いているのですが、カメラ調査の作業中に、これは別にラ・ヴェールの中ではないのですけれども、ラ・ヴェールの前の道で、こういったタイヤレンチ、大体40センチぐらいのが輸送管内から見つかっております。

- 利用者の会 40センチか。
- 利用者の会 40センチ。
- 利用者の会 教科書のとおりと同じ話。
- 利用者の会 これ教科書と違うの。
- 市 違います。
- 利用者の会 えっ。
- 市 教科書。
- 利用者の会 教科書。
- 利用者の会 話が違う。
- 利用者の会 教科書、多量の教科書。
- 市 それは以前の話です。
- 市 前の話で、前の閉塞のとき、そういったことがあって。
- 利用者の会 いや、ここか。今回、そんなことは聞いてない。
- 市 今回は原因がわかんない。
- 利用者の会 はい。
- 利用者の会 わかんない。
- 利用者の会 何かちぐはぐな。それならば違うな。
- 市 これが運転報告で。

前回、パイプラインの内張り補修を行いますという報告をさせていただいたのですが、その補修が終わりましたので、その説明をさせていただきます。

前回どおり、この7カ所、施工場所7カ所の補修が終わりましたので、それぞれ穴あきに内張り補修を行っております。

ここ、右側、さび食いがあつたり、それを内張り補修で、それぞれ3枚ずつ。

これもまだ水中ボンドがついている前の写真になります。

それぞれ、これも施工場所で、ナンバー3のところ、それぞれ中に入って穴あきのところを丸印してもらいまして、砂が見えるところに関しては、それぞれ輸送管の内張り補修を10枚行っております。

こちら、土が見えて。これはもう3枚。

次に関しても、この溶接の継ぎ目のところ、これは1枚で張っております。

これは施工場所6についても、穴あきのところ、それぞれ4枚ずつ張っております。

最後、7番のところも、それぞれ穴あきのところに関しまして、ここは9枚張っております。

合計、内張り補修は37枚張りまして、大体の長さで13メートル、14メートルぐらいの補修をさせていただきました。

長くなったのですが、今回のパイプライン運転報告は以上になります。

○利用者の会 どうもありがとうございました。

今の御説明に関しまして御質問等あればお願いします。

春木さん、どうぞ。

○利用者の会 どうも御苦労さまです。春木です。

いっぱい聞きたいことあって、もうどれがええのかわかりにくいのですが。

まず、このシステム異常、発報対応、これ32件発生して非常に多いんですけど、このうち、これまで気にかけてなかった、この早朝運転のときのトラブル、早朝自動運転のときの。これが、ざっと見たら16件あるね。これも時々、今年度入って、1月と3月かな、16件以上発生している。この早朝のときに異常が起こったら、もう自動停止なのね、停止。そしたら、それ以降、オペレーターが出てきて対応せんことには、運転再開できんと思うのやけど、ここら辺がふえていると違うかなという気がする、このシステム異常。非常に、もういっぱい、枠にかからんぐらいに入ってるので、この辺、もう少し原因調査というのか、その辺必要と違うのかという気がする。

特に、排出弁や吸気弁やら、その辺の弁関係。これ、やっぱり、もう何年や、40年ぐらい使てるのかな。そうしたら、やっぱり摺動部分のこれがちょっといかれてきて、ちょっと傷が入ってきているとか、やっぱり何らかの原因がそれなりにあると思うんやわ。それで、何か1カ所は、吸気弁、検討中やいうことでなっているけど、これからどんどん、やっぱりその辺の可能性としては出てくるわね。それで、スクリュウの異音がしているところがあるということで。そやから、もう40年もたったら、それなりにやっぱり出てきていると思うのです。そやから、その辺、高砂にもしかりやってもらって。場合によったら、今回、外して、とまっているのと取りかえた後の弁、この辺調べてもらって、どのように異常になっているか。できたら応急処置でも、メー

カーというか、その辺をして、また次のに備えておくことができへんのかどうか。全くもう廃棄、アウトなんか、その辺をよく見ておいてほしいです。でないと、これからどんどん、やっぱり出てくると思うのです、そういうところが。

そやから、この辺、起こっているということは、今後、アウトになる可能性があるということで、やっぱり、こういうところをしっかりと調査することは大事やと思うのです。安全でもそうですね。やっぱり常日頃から、ヒアリハットしたときには、そこからもう重大災害の起こることを想定した上で対応という、そういうことが非常に大事なんで。ぜひこれ、大事なシグナルやと思いますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

ほんで、この利用者からの連絡対応についても、何かこの備考欄というのか、見たら、29年、30年、ほんで今回見てみたら、物すごくふえているわね。6件、4件、15件や。15件も発生している。それまでは6件とか4件やった。前回の協議会のときも、たしかこれぐらい載ってたと思う。そしたら、やっぱりかなりふえてきていると違つかんと。鍵にしてもそうで、バケットにしたってそう。この辺、日常点検のときに、二人二組で回ってはると思うのやけど、そのときに、やっぱり鍵のメンテ、休止やとかそういうなん、そういう順番でやってほしいと思ひます。

年間保全カレンダーとか、よう何かやってるのです。それぞれ順番に、2カ月おきいうたら、2カ月おきに休止と決めたら、それを、この月、この月、この月、この月、それぞれに対してやって、そういう保全カレンダーをやっているのです。だから、ここらもこういうことがぼつぼつ出てきているのであれば、ぜひやってほしいです。コインマスターの取りかえが最近出てきているけど、その辺も含めて願ひしたいと思ひます。

ちょっと長くなりましたけど、まだいろいろある。

それと、この今、利用者からの連絡対応。鍵でもそうですね。開で放置。これ、コインマスターは悪くないですね。そうならば、鍵が悪いと違つか、鍵。

○市 いや、ちゃんと戻さないと。

○利用者の会 普通やったら、戻さないと抜けないのでは。

○市 そうですね、はい。

○利用者の会 そうであれば、何が悪いのか、コインマスターのほうかええ言のであれば、これ開けた人の持っている鍵が悪いのや、途中で抜けるもん。そうであれば、それ、



どのようなアクションとっているかやね。そうでないと、また、それ、人が、同じ人が、最後まで戻してから抜いてくれたらええけど、突起が減っていても。最後まで戻してから抜いてくれたらええけど、そういう鍵を持っている人は可能性としてある。そしたら、やっぱり、そこの住民に言ってほしい、自治会なりに。こういうことで抜けて、鍵持つような人がおられると。委員長も、図まで描いて回しますわね。こういう、ちゃんと鍵チェックをせえということで。それをできて、そういう、せっかくそこまでやっているのに、今回も、これが住民起因として、それが、これ、3件かな。3件も発生している。これはやっぱりそういうアクションとってほしいですね。緑町、新浜町。ほんで新浜町2件や。投入口は違のかな。そやから、そういうアクションとらんと、1個も減っていかんと思うのや。その辺、ちょっとやり方。利用者の会にもあるのかもわからんけど、対策ね。せっかくこれだけきっちり毎回まとめているのやったら、それなりの対応を。利用者の会にも言うのであれば、こういうことをやってくださいということで、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○利用者の会 ありがとうございます。

ほかに。

大田さん、どうぞ。

○利用者の会 利用者の会の大田です。

巡回点検で発見された不具合というところで、潮見町と若葉町で穴あきとありますけども、これは穴あき発見というのはどういう形でもって発見されるのか。それと、根本的に補修という形で、今後しばらくは大丈夫だということでもいいのかどうか。特に、私、潮見町に住んでいるので、どの部分に、上か下か、どういうところに穴が空いていたのかを知りたいなど。

○市 芦屋市の林です。

穴あきの発見するタイミングに関してはリークです。運転したときのリークがあるかないかで判断しています。定期点検、年1回、全ての投入口・遮断弁、回っているのですが、そういったとき、発見したときに、水中ボンド等で補修を行います。水中ボンドに関しましては、あくまでも仮補修という形ですので、そういった水中ボンドが結構多くなってきたら、最終的には鉄板溶接で補修を行います。

できるだけ早目にやらないと、やっぱり輸送管本体は、結構薄くなると溶接もできな

い状態になりますので、定期点検で発見されたときに水中ボンドで仮補修して、時間を見て鉄板溶接をする流れになります。

○利用者の会 大体、底なのか、上なのか、横なのか、どの辺なのか。

○市 横です。溶接箇所。

○利用者の会 溶接箇所。

○市 溶接を、当時やったときの、その溶接箇所がどんどん弱くなっているのが今です。

○利用者の会 さびが進行したりとか、溶接部分で。

○市 そうですね。そういったところは、やっぱり溶接をし直す形になります。

きょう、写真が間に合わなかったのですが、この1210の分、これに関しては既に鉄板溶接しております。

○利用者の会 ありがとうございます。

ほかに御質問ございませんか。

山口さん。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

さっき春木さんが指摘されたように、発生時刻の早朝の自動運転が16件、全体の半分ありますので、やはりこれはワーキング・グループか何かを通じて、全部一度には無理ですから、例えば、排出弁とか、遮断弁、何かテーマを決めて、具体的な話をしていかなきゃいけないと思います。これ1つの提案でございます。

もう一つは、高浜の異音の問題。変な音がすると、早朝運転でということで、ここに利用者の方も来ていただいて、市の方と御説明をいろいろしたのですが、そのデータはここに入っているのですか。

○市 異常は出ていないので。

○利用者の会 異音というのは異常じゃないのですか。

○市 この資料はシステムの異常が発報されたものを載せているものです。今の話は、システム的には異常は出ていない。動くけども現場で異音が鳴っている。

○利用者の会 ということであれば、定義をもう一度きちっと、ここのトラブル等対応記録という定義をきちっとしとかなないと。利用者にとって早朝に異音が発生するのは、やはりトラブルだと私は思います。だから、その辺の、やはりきちっとした定義に基づいてデータをとらないと、データは信用できなくなりますので、なぜそれが入らないのか、ちょっと御説明を。私、今のは理解できないので。

○利用者の会 どうぞ。

○市 そうですね、この資料1の1ページ目のシステム異常発報で出ないことに関しては、こちらの異常、機械的に出てきたものをここに載せている形になりまして、山口さんから御指摘あったその異音に関しては、今のところ、そのスクリーンとかは回るのですけども、回りながらちょっと音が鳴っているという。特段そこに、リミッターとか、そういった異常が出ていない。ここに検出されていないということになっております。

○利用者の会 もしそうであれば、利用者からの連絡対応、市にはちゃんと連絡しましたと、この件は。で、利用者もここに来ていただいて話し合いしましたので、この利用者からの連絡対応に載せるべきではないでしょうか。

○利用者の会 林さん、どうぞ。

○市 そうですね、載せるのは。私たちも利用者からの連絡対応の定義といいますか、やっぱり市民の方が、直接、芦屋市の環境施設課に電話して、バケットがあかない、鍵が回らないという連絡を、こちらに記載させていただいております。

○市 環境施設課の尾川です。

システム異常発報対応、最初のページ、これはあくまでもやっぱりコンピューターで異常として出たもの。リミットスイッチを切らなかったとか、弁が全開まで行かなかった、全開までいかなかった、そういうのに対しての羅列になっていきますので、ここに載せるというよりは、先ほど山口さんがおっしゃったように、ここに来ていただいて説明はしていただいたので、利用者からの連絡対応という形でここに載せるべしかなとは思いますが。

今の段階では、鍵と誤投入。市民さんがうちに電話していただいたものを書いていますので、ここに、これから、そういう大きなもの含めて載せていきたいなと思っております。

○利用者の会 そしたら、文言を追加してほしいのですが、利用者からの連絡対応の下に、利用者からの電話・メール等により、通報により対応したということを入れていただけますか。

というのが、連絡体制が、直接来たり、私にメールが来て、自治会長さんがいろいろ実際に調査をされて、何時何分にそういう音がしたかを全部書いて、そのまま僕は環境施設課に転送して、で、ここに、その利用者と自治会長さんと私と3人でここに来て市とお話し合いをしましたから、そういうふうな追加で。

今後とも、やはり40年たつといろいろ問題が起こると思うのです。ですから、今のうちからそういうのを潰さなきゃいけないので、ほんとに貴重な連絡だと私自身は思っています。ぜひとも、そういうことはきちっとここに載せたらどうでしょうか。

○利用者の会 はい。

それ以外に皆さん御質問はございませんか。

○利用者の会 今の関係で。

○利用者の会 春木さん、どうぞ。

○利用者の会 春木です。御苦労さまです。

ほんとに、この利用者からのこういう情報は非常に大事なことなので、やっぱり設備は、異常を早期発見です。これで、早いこと発見するか手遅れになるかで、全然、後の修理費用うか、変わってくるのでね。例えば軸受けが悪いのか、軸受けを変えようかと。これで異音しなくなる。しかし、どんどん使っているうちに、もう、ガガガガガガといってしもたりして、もう丸っきりアウトになる。もう全部取りかえやとなるので、やっぱり、これ非常に大事なことなので。この辺は、山口さん言われたように、こっちへ載せてもらって、またほかに住民が感じていることあれば、早いこと連絡して、その対応をするということ。

このスクリーも、同じ容量で使ってないところもあると思うので、今後に備えて、その辺をどのような修理方法にするかを、事前に高砂と話しをしてほしいと思います。取りかえというたら、内部でできるのか、それとも、外へ出さないかんか。外へ出すというたら、どのようにして出すのやろ。その辺、ぜひ今後とも、今、環境施設課もいろんなことあって大変やいうのもわかりますけど、ぜひお願いしたいと思います。

○利用者の会 ありがとうございます。

それ以外に御質問ございませんか。

なければ次の議題に移らせていただこうと思います。

議題2、輸送管補修工事のお知らせ、資料2に関しまして、林さんから御説明をよろしく願いいたします。

○市 芦屋市の林です。

資料2といたしまして、輸送管補修工事のお知らせをさせていただきます。

今年度も6月に入札が終わりまして、輸送管の交換工事を行おうと思っております。

入札の結果、業者としては、高砂丸誠エンジニアリングサービス株式会社。工事箇所

としては2カ所を予定しております。前に書いてあります施工箇所1番と2番のところであります。

それで、今回、施工場所1番に関しましては、浜風町1番先。ちょうど浜風小学校の東側の緑道のところになります。工事期間に関しましては、予定ですけども、9月下旬から11月上旬を予定しております。工事概要といたしましては、輸送管の交換、約31メートルを予定しております。一番下のとこ、これに伴うパイプラインの停止等はありません。

続きまして、施工箇所2番に関しましては、浜風町18番先。場所といたしましては、こちらの環境処理センターの道路を渡った丘の向こう側になります。こちらが、先ほどの施工箇所1の後に行いますので、11月中旬から12月下旬。工事概要といたしましては、輸送管の交換、約26.4メートルを予定しております。

こちらの施工箇所2番に関してですが、こちらに関しては、12月上旬から約3日から5日間、パイプラインの運転を停止する予定にしております。その際に関しましては臨時の車収集を行います。停止地域については、前のほうに書かせていただいておりますエリアになり、新浜町、高浜町の一部地域になります。工事に関しては、雨天等の状況により工事期間等が変更にある場合がありますが、予定では、大体12月上旬の3日から5日間を予定しております。停止する全投入口に掲示を行う予定にしております。

以上で工事のお知らせを終わらせていただきます。

○利用者の会 どうもありがとうございました。

今の説明に何か御質問等ございますか。

山口さんどうぞ。

○利用者の会 2点、質問というか、利用者の会の9月に御説明をされるということで、これは皆さん御存じない方もおられます。藪田課長と林さんが来られて、マックスで5日間ぐらいで止まるということで、その説明をお願いしております。これはお知らせ。

2点目は、直接関係ないのですが、今回、台風10号が来たときに、朝止めましたよね。何もなくてよかったなと思ったのですが、その辺の経過だけでもお知らせしていただいたらいいかなと思います。

○市 芦屋市の林です。

前回行いました大雨等の軽減対策ですが、確か8月14日、金曜日に行いまして、その後、ポイント、ポイントで点検口をあけまして、輸送管の状況、水が入っているかどうかを見まして、環境処理センターから近いところから順番に確認しまして、夕方ごろには全て運転は完了しております。特段、問題はなかったなので、そのまま通常運転に戻っております。

以上です。

○利用者の会 ありがとうございます。

何がございますか。

春木さん、どうぞ。

○利用者の会 御苦労さまです。

今のお話やけど、特に中層で、運転したときに、例えばサイクロンやとか、ドラムやとか、そんなところへカメラがついているんやね。ごみがどんな状況で出てくるとかいう。

○市 センターのほうで。

○利用者の会 センターのほうで。

○市 はい。

○利用者の会 そのときにも、特に水が、雨水が入ってきてとかいう、そういうふうな状況はなかったのやね。

○市 多少ごみが湿っているぐらいでした。

○利用者の会 そうですか。そやから、それほど大したことではなかったということね。

○市 そうですね。

○利用者の会 また。いや、俺、そこでもまだ穴があいている箇所があると思っているのやけどね。

○市 見えてないところはあるかもしれません。

○利用者の会 うん。それがちょっと気になったけど。センターでオペレーターの人が監視していて、ここを吸うたときに水が出てきたとかそういうのを見とってても大したことではなかったということ。

○市 そういったのがあれば、またカメラ調査に反映をして。

○利用者の会 うん。そこにつなげてほしいから。

○市 はい。

○利用者の会 つなげてほしから、オペレーターにも、よう見といてやと言うて。

○市 試運転の際には僕も立ち合っやっておりますので。

○利用者の会 そうですか。その辺よろしくお願ひしようと思ひます。

それと、考え事してて聞き逃したんかもわからんけど、施工箇所の1番、ごみ投入口、使用不可期間なし。そうして、工事概要として、輸送管交換31メートルってなっているのやけど、輸送管交換31メートルやるというたら、ちょっと期間かかると違うのかな。それが投入口使用不可期間なしというのが疑問なので、この辺、説明をお願ひしたいなと思ひます。

そこで、それと、さっきのところで言い漏らしとったのやけど、タイヤレンチ見つかった言うたね、40センチ。40センチのタイヤレンチ。

○市 さっきの話ですか。

○利用者の会 うん。それ、何らかのアクションとっている。

○市 昨日発見したばかりで。

○利用者の会 また、ホームページでも、復旧した後にでもか構わないけれど、その写真撮って、大きき撮って、それ、やっぱり公表してほしい。やっぱり、それ犯人探しとかそういう意味やなしに、やっぱり住民の皆さんに、こんなことがあるのやいうことを。場合によつたら、あれが40センチやから、50センチの中で詰まることが、あれだけが単独やつたら考えにくいけど、あれと一緒にいろいろなものを入れて、それが引つかかったという可能性もあるわけ。

あれ引っ張ることができない、50センチ。何ぼ送風機で引っ張っても。そういう可能性もあるわけ。そうであれば、やっぱり、それをなくそう思つたら、住民の皆さんに、やっぱり、あれが原因かもわからん、ゼロではないから。その辺はやっぱり知らしてほしい、こういうことあれば。それは何も犯人探しじゃないです。こういうことが、これはだめですよということをはっきりと言つてほしい。せつかくの機会やから、お願ひします。

○市 そうですね。それと工事の説明ですね。

施工場所1、31メートルでどうして停止はないのかというのと、31メートルというのは、これ全部直線というか、真っ直ぐな輸送管をつなぎ合わせて工事を行いますので、その日のうちに、ここを切つて、ここを繋なげてを繰り返して、停止なしの状態。

○利用者の会 準備しといて。

○市 はい。

○利用者の会 直線やから。

○市 そうです。ナンバー2に関しては。

○利用者の会 曲がり角のどこにある。

○市 はい、曲がりなので、そこは同じようには工事ができない。

○利用者の会 わかりました。

○利用者の会 大田さん、どうぞ。

○利用者の会 利用者の会、大田です。

施工1とか2、これ、見積り金額というのか、その辺のところはオープンにできるものなのかどうか。

それと、高砂丸誠が、これ請け負っておられると思うのですが、これは相見積もりを出されて、高砂丸誠でされると決まったことだということですね。それをお聞きしたい。

○市 公募入札ということで、こういった工事があるよというので芦屋市のホームページに載せまして、手を挙げたのが2社ありまして、今、芦屋市のホームページに金額、結果を載せております。利用者の会の方でもホームページに載せていただいておりますので。

○利用者の会 ありがとうございます。

○市 最終的に設計変更とかで、金額とかは変更になる場合がありますので。

○利用者の会 入札の結果もホームページに載っている。

○市 ホームページに載せています。

○利用者の会 まさか、高砂丸誠さんの下で、大和機設がやっていることはないね。

○市 下請けはどこが入っているか覚えてないです。

○利用者の会 そうですか。

○市 また、どこか掲示板とかには載せますので。

○利用者の会 はい。

○利用者の会 ありがとうございます。

それ以外に御質問ございますか。

なければ次の、本日の議題3、誤投入への対応ということで、資料3、山口さんから御説明をお願いします。



## ○利用者の会 利用者の会の山口です。

資料3を見てください。これは、前回の利用者の会で話し合いをして、そのときに出した同じ資料です。

誤投入が、毎年、大体10件あります。2017年度も10件、2018年度もデータを下に載せていますけど10件。これに関して何とかしたいなというのがありまして、今回、利用者の会で提案をさせていただいて、その結論をもって、この協議会で最終的に決まればいいなと思って、今回、説明をいたします。

非常に、今、実際の作業に関しては、やっぱり電話を受けた後、現場に入って、投入口の中に入って、ごみを出して、一つ一つそれをあけて、また、それを全部終わったら直して、しかも、その中にはガスボンベやリチウム電池が、今の状況では爆発の可能性もあるし、ガスの問題もあるし、また細菌が付着して病気になる可能性もないわけではないわけですね。そういう作業環境が非常に劣悪の中で、例えば自転車の鍵を入れた、取り出してくれとか、そういうことはもうすべきではないと私自身は思っていますし、これを提案しました。

その提案は、一定の告知期間、これはいつかするか決めたらいいと思うのですが、設けて、急にするのじゃなくて、そういう告知期間を設けて、今後は誤投入へのサービスはしませんと。また、こういうものをきちっと伝えるような文書及び告知ポスターをつくって張ると。

現実には、黄色い、右側に写真がありますけど、これが今張ってあるのです。張ってあるのは、貴重品を投入すると回収不能ですと、ちゃんと、もうずっと昔から張ってありまして。けども、これを好意で市はされていると。パッカー車は同じことをしているかという、どうもパッカー車ではしてないと私は思います。ここに貴重品を入れたので、パッカー車に捨てられているものを全部出して、見て、それはされてないと思いますので、パイプラインだけをそうするのも問題かなと思います。

理由としては、やはり健康面、安全面を考慮すべきと。作業員の方の犠牲においてこういうことをしたら、私は問題あると思いますし、もう少し考えますと、そういう作業員の方が、今後、今はずっとパイプラインに携わっている方ですからよく御存じですけど、今後、新しい方が入ってこられたとき、この仕事をされるかどうか、非常に私は疑問です。

それから2番目。もう昔から、こういうのはちゃんと、貴重品を投入すると回収不可

能と告知をされてますので、それに基づいてきちっとされたらどうかと思います。

3番目は、ここに費用とか書いていますけども、誤投入にはやっぱりそれなりのお金がかかります。そのお金に対して、自転車の鍵とか、ダイエーで買った何か物を入れて、それを取り出してくれとか、全く採算性の問題には合いません。私の、2年、3年間の記憶では、1回だけ貴重品として通帳と印鑑を入れたという記憶があるのですが、これも、再発行は、今、銀行でできますし、人が入って、それを一生懸命拾うというのは、もうそろそろやめたらどうかという提案を今回させていただいて、この協議会で合意できれば、一定の期間を置いて、告知をしてやると。ただ、告知の方法に関してはもう少し詰めて、各管理組合のニュースで流すとか、具体的にポスターをあそこに張るとか、そういうことで一定の期間を置いてやるということで、もう誤投入への対応はしないとしたらどうでしょうか。

ただし、100万円入れたとか、刑事事件問題で何か重大なる証拠が入っているかもしれない。そういうときには随時対応していいと思います。ただ、基本的にはやらないということで、ここで提案させていただきます。

○利用者の会 ありがとうございます。

今の御説明に御質問のある方どうぞ。

大田さん。

○利用者の会 利用者の会の大田です。

基本的には、今後、こういうことはやらないよということに関しては問題ないと思うのですが、家の鍵、自宅の鍵は、2つの表現伝わっていますけども。ごみを捨てに行くときに、自宅の鍵を持ち出した上で投入しに行っていると思うのですが、これ、落とした方が、環境処理センターに連絡して、ずっと待っておられたのか、それまでどうされてたのかということですけど。

○市 基本的に、誤投入は電話をもらったら、その場にももらわないと僕らは誤投入したものを返せないの、いてくださいとは言っています。鍵とかでしたら、家に入れないので、恐らく、このときもいたと思うんですけど。

○利用者の会 そういうことならいいですけども。自転車の鍵とか、そんなん、家帰ったら予備キー何個か、自転車の鍵なんかはあるはずだし、問題は自宅の鍵か、落とした場合、自宅に帰るのはどうしているのかなど、ちょっと気になったものですから。

話としては、一部、利用者の会をやったときに、女性の方から、今後、自分自身が何

らかの形で誤投入する可能性も、皆さんやっぱり完全には言えないというときに、全くもうしないよということで行くのか、高砂丸誠さんが請け負って、今までどおり無料じゃなしに、有償で処理することは考えられるかどうかをお聞きしたいと思うのですけど。

直接芦屋市が絡まなくても、高砂丸誠さんが請け負って対応するよということですけど、そういうことを考えられるのかどうか。

○市 芦屋市の林です。

先ほど、直接、市民の方が直接高砂丸誠さんと有償でやるという話、高砂丸誠さんに聞いたのですが、やっぱりその分の人を確保するのも必要やし、実際やってみないとわからない。やるとしても、今回も2カ月の中で1件しかない。そのために人を確保するかということは、ちょっと厳しいかなとは返事をもらっています。

○利用者の会 今までやっていただけでも厳しいと。

○市 今までは。

○利用者の会 有償ではなくサービスとしてやっていただけでも。

○市 今までに関しては、維持管理を委託している業務の中で誤投入の搜索等をやってもらっているんですけども。直接高砂丸誠さんと有償でとなると、それとは別の契約でやることになる。

○利用者の会 高砂丸誠さんと市との契約というのはもちろんあるのですが、それ以外に、高砂丸誠さんが、会社として請け負って対応というのが可能なんかどうかと申して。

○市 今の維持管理の契約で5名のかたが働いていますので、その人がそれ以外のことをやることはできません。それ以外になると、別の人を入れないとだめなので。

○利用者の会 その辺はちょっとよくわからないのだけど。

○市 今は、高砂丸誠さんが今の契約の中でやってくれているような状況です。それが、もし、お金が、例えば1回1万円とか発生するとなると、いわゆる営利活動という形になりますので、うちの立場からすると、それは高砂丸誠さんの今とは別の営利活動であるので、もともとの、その5人、ここのパイプラインを維持管理するために必要な人数として5人きていて、その中でやることは、やっぱりおかしい話になります。となると、高砂丸誠さんは別で一人雇う話になると。ただ、それ、この一年間10件、例えば1回1万円で、年間10万円のために一人雇うのかというところもややこしい話

になりますし、やっぱりお金をとってというのは、なかなか厳しいのかなと思っております。

○利用者の会 ほかに御意見ございますか。

春木さん、どうぞ。

○利用者の会 御苦労さまです。春木です。

これはやっぱり非常にいいことやと、こんなこと言ったら皆さんに怒られるかもわからんけど、やっぱり大事なことやと思います。

ただ、住民の皆さんが現状を知っているのかどうかといたら、物すごく疑問なのです。例えば、今回は、誤投入は高浜町で1件になっています。しかし、前は4件やったのです、前の報告では。高浜町は3件と、若葉町が1件。これ見たら、高浜町がえらい多いやないかという状況ですね。

一方、配ってもらったこの資料見たら、南浜町が非常に多いですね、陽光町。ほんで、これ、6番は海洋町ですね。あと陽光町、南浜町、私とも1件入っているのやけど、非常に多いですね。

それと、家の鍵やとか医薬品、自転車の鍵、ほんで、通帳や買い物袋、携帯電話、いろいろあるのやけど、これ、どのような状況でこれをほおり込んだのか、非常に興味あるところなので。この辺がもし想定できるのであれば、もう、回収やりませんという、その期間の間に、やっぱり住民の皆さんに、投入口へごみを持っていく、ほかしに行くときには、その投入口のその鍵だけ。それとあわせて自転車の鍵や家の鍵など持って行ってやったら、あけてやるときに、ぽそっと落として、がちゃっと入れてしまったとか、やっぱり何らかのことがあると思うのです。やっぱりその辺を、過去の状況をオペレーターの人にも聞いて、そのときの作業書、作業したその日報なり、それがあれば、その辺見といてほしいです。

ほんで、そやから、家の鍵とかを一緒に持っていったらあかんでとか、何らかがあると思うのです、やったときには。例えば、買い物袋やったら、子供か誰かに頼んだから、間違っって同じような袋やから持っていったとか。何らかの原因があると思うのです。

携帯電話もそうですね。何で携帯電話をほうり込んだのや。そら、もう年寄りで、最近はもう一人とか、いろいろあるので、そういう可能性もなきにしもあらずやけど。

その辺、ある期間、提案するのに告知期間がありますので、これまでの現状、何でそ

れを投入してしまうことになったのかということで、やっぱり住民の皆さんにも知らせ  
て。鍵持って行くとき、ごみほかすときには、ごみと鍵だけやでと、そういう注意喚  
起してもらえた上で、やっぱりやってほしいなと思います。

オペレーターの人にもその辺の状況を聞いて、注意しないといかんことをまとめても  
らったら、物すごいありがたいんやけど。それを、今度、住民の皆さんに回して、こ  
ういうことあったので、可能性としてあるので注意してやとかいう、それをやってほ  
しいなと思います。ぜひ、その辺、忙しいと思うのやけど、よろしくお願いします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

この提案に基づいてされると、作業員の方は負担がその点で少なくなりますので、よ  
りパイプラインを維持管理していただくほうに作業時間を向けられるかなと思います。

春木さんおっしゃったことはそのとおりで、単に何月何日をもって使えませんじゃな  
くて、やっぱり細かい、こんなことをすると、鍵が。例えば、私もよくやるのですけ  
ど、5つぐらい鍵を持って、その鍵をじゃらじゃらしながらあけると、ぽっと落ちた  
こともあるのです、1個。ただ、たまたま閉めてなくて、バケツが開いたままだっ  
たので、自分で取り出したのです。そういう細かい注意事項とか、実際に作業員の方  
が経験されたことなどを含めて、やはりきちっと各管理組合、自治会に連絡すれば、  
よりスムーズにいくと思います。

もう一つ追加で忘れていましたけど、電話がかかってくると思います、今後とも。そ  
のときに、どんなふうに応えたらよりソフトに住民の方が理解できるかは、もちろん  
告知として、そういうものと同時に、オペレーターの方もその辺の事前の準備とかも  
必要ななと思っております。

○利用者の会 ありがとうございます。

この利用者の会の提案に関して、これから検討されると思うのですけれども、大体ど  
のくらいの検討時間、日数とか、また決定されましたら、私ども利用者の会も毎月や  
っておりますので、各団体等にもまず連絡をしていきますので、市としての、こうい  
う提案に対しての御検討の大体の御回答時期を大まかな感じで言っていただければあ  
りがたいと思います。やっぱり準備期間は長ければ長いほどいいかと思いますので。

どうぞ。

○市 芦屋市の藪田です。

この件、非常に難しい話やと思います。確かに誤投入に対応しませんというのは簡単

ですけども、今、話し合われていましたけど、いろいろな問題があると思います。少し時間いただきたいなと思います。いつまでと聞かれると、即答はなかなか難しいところはありますけども。ワーキング・グループ、毎月やっている中では、その辺も話ししながら進めたいとも思っています。それと、考えさせてもらっている間に、また誤投入が起きたら、その方には、何で入っちゃったのみたいな聞き取りをして、データとして積み重ねていくことをしながら。

○利用者の会 その辺はまた利用者の会で情報を流してほしいです。

○市 そうですね。

○利用者の会 それをまた皆さんに伝えて、今回も1件起こっていましたが。

○市 そういうことをさせていただきたいと思うので、いつまでと、今、お返事することは難しいです。

○利用者の会 よくわかりました。そしたら、また市としての御方針が出ましたら、山口委員長なりワーキング・グループでの発表をお願いしたいと思います。

私どもは、大体、準備ができています。みんなでやりましょうと、作業環境をよくしましょうということで、もう既に利用者の会では説明をして、誤投入をなくするための手段であるとか、そういうのも、皆さん、グループで話し合っておりますので、いつでもお待ちしております。

それでは、次。

○利用者の会 藪田さん、それと、さっきも委員長から話がありましたけど、ごみ収集車での状況、過去の状況、貴重品に対する。その辺も、今回やめる上において、皆さんに言うときに大事な話になります。

○市 そうですね。ごみ収集車のケース。別の部署なので、私らが直接ごみ収集に携わっているわけじゃないんで、どれだけの確率で起きているのかはわからないんですけども。

○利用者の会 収集事業課の。

○市 また聞いときます。

○利用者の会 そうですね。収集事業課のほうで、また、その辺の過去の状況を聞いて、また出しといてほしいです。

○市 対応してないのか、対応しているのか。対応するとなりますと、パッカー車からどっかに全部あけて。

○利用者の会 もちろん、もちろん。帰ってきて、ここの空き地というか、スペースにあけて、そこへぱーっと地面にばらまいて、そこではぱーっと探さないかん。

○市 そうですね、パッカー車からあけて。ここの投入口1カ所に入っているごみの量と比べると、とんでもない差があります。

○利用者の会 そうそう、とんでもない量。

○市 パッカー車で2トン。それほごのごみをあけて、そこから探すって並大抵のことやないと思うのですけど。また聞いときます。

○利用者の会 そうですね。その辺、過去の状況を調べてもらって。

○市 はい、確認ときます。

○利用者の会 もし、こういうケースの場合はばらまいて調べたとか、そういう状況ちょっと調べてもらって。今回、やめることの1つの資料になりますので。

○市 はい。

○利用者の会 ありがとうございます。

続きまして、本日の議題4、利用者の会の活動、集団回収に関しまして、資料4と5。山口さんから御説明をお願いします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

2つありまして、1つは、利用者の会の活動を、もう一度、私のほうで整理しましたので、これで、私たち自身も含めて、どんな活動しているかを確認していただくと同時に、この添付資料は、今、市のホームページでも4月からちゃんと載せておりますので、利用者の会は一体何んやというときに、具体的な活動としてこんなことしているんだよというのは、これを見ていただくとわかるということで整理をしたものです。これは山口個人が整理をしているだけで、皆さんに合意をとったわけではありません。

私たちの利用者の会は3つの柱があります。

1つは市の環境施設課に対するいろんなサポートを、私たちのいろんな経験を踏まえてやっていこうじゃないかということで、長期計画を策定して、パイプラインの補修とか、そういう面の検討、アドバイス。それから、最近よくあるのは、業務チェックリストとか、マニュアルを整理していきましょうということで、いろんな知見を含めて、そういうものを御提案させていただく。これが1つの大きなサポート業務の1つです。

2番目は、こういう活動は、往々にして感情が先走って、こうあるべきだとか、そう

いう話になるので、そうじゃなくて、やっぱりデータを中心に問題解決をしていこうということで、データを整備していくと。林さんから先ほど運転報告がありましたけど、それも私たちで、いろんな、こういうものを入れたらどうかとか、分析はこうしたらどうかとか、いろんな提案を含めて検討していく。と同時に、ファクトブックで年間の活動したことをきちんと記録としてとっていく。こういう、2番目はデータ整備をする。

3番目は、具体的に啓蒙活動という括弧でくくれば、利用者が起因しているトラブルをゼロ化したいということで、具体的な活動としては、1から8番。全部まだやっているわけではありませんけど、こういうものを皆さんで話し合っただけで決めていく。今も利用者の会で、2つのグループに分けて、具体的にこれをなくすにはどうしたらいいのかと、今、いろいろ検討をしています。

1番目は、安心でゴミが捨てられて、これ、マニュアルも、皆さん、こういうものを、各7,500刷って各住戸に全部配布して。106日間、4月26日からトラブルがなかったのですが、立て続けに2回起こりまして、また何かしなければいかんという気はするのですが、そういうことを中心としてきちっとやる。

と同時に、アンケートで皆さん方がどんな考え方を持っているかをきちっと把握しよう。

と同時に、この後説明しますが、集団回収という大きなものがありまして、非常にこれは優れたシステムだと思ひまして、これを利用者の会としても促進していきたい。ということで、これを促進することによって、パイプラインに負担をかけないと。利用者起因の原因の多くは、この集団回収と非常に関係がありまして、段ボールとか、教科書とか、服とか詰まる。それは非常に、そこに、右側に書いているのですが、2017年度のデータ、ここにありますが、これは集団回収をすることで非常に減らすことができるんじゃないかということです。

それから、誤投入への対応。先ほど提案させていただきましたけど、これも、やはりパイプラインの負荷を小さくする、作業員の方の負荷を小さくするということです。

それから5番目は、友田さんを中心として学校です。この地域には学校が3つあります。2つの小学校と1つの中学校。これに対して、実際のパイプラインがなくなる20年後、32年後は、彼らが中心とした社会になりますので、今のうちからきちっとした教育、啓蒙活動をしていく。これは教頭先生が非常に乗り気で、資料は全て渡してい



ますし、学校教育の中に取り入れていこうと私たちは望んで活動しています。

それから、6番目は新規入居者の対応ということで、後でこれは御説明しますが、パイプライン利用者の会で意見が出たところで、新しく入る方への対応もきちっとしなきゃいけないと。

それから、鍵トラブル、これも対応する。

それから、何か問題が起きたときに、今回もそうですけど、協議会は2カ月に一回では非常に遅いのじゃないかと、もうちょっと早く手が打てるんじゃないかということで、これは詰める必要がありますけども。どんな情報をどんな形でいかに早く利用者の方に伝えてトラブルをなくしていくかを、少し活動していこうと思います。

こういう活動で、私たちは啓蒙活動を中心としたものを行っている。この3本柱が利用者の会の今の活動です。利用者の会って何をしているのか。これさえ見せればわかると思います。

次、資料5、これは再生資源集団回収です。

これは非常にすばらしいシステムだと思いますけど、最近、全国も、それから芦屋市も、ちょっと量が減ってきているのです。何故かという、最初はみんなやろうということで盛り上がり、約20年前からやっているのですが、これが、その当時の人たちがどんどん年をとりまして、なかなかサポート、フォローできない状態にあるので、もう一度ここは喝を入れなければいかん。

もちろんこれをするによってリサイクルの量がふえます。しかも、補助金ももらえると。それから、ごみの減量化にもつながるし、市の回収費用もキログラム4円という形で、これでやると通常よりも少なく済む。しかも、最終的にはパイプラインの負担が少ない。4つのメリットがあるということで、これはもう利用者の会もこれに協力をしてやっていかなければあかんと考えて、ここに幾つかの提案をして。これは利用者の会の皆さんにも提案をしています。

それで、何をしたかという、ここには実は添付ファイルはついていませんけども、それぞれの自治会、管理組合に、どういうふうにこれを運営しているかを全部まとめて一覧表にしました。そうすると、同じ業者なのに、あるところからは市からもお金をもらい、業者からもお金をもらっている。あるところは月2回しか来てないのに、あるところは同じ業者で月4回も来ていると、いろんな差があったのです。それではいかんということで、全部にアンケートをとりまして、皆さん方に協力をいただいて。

この資料5の、後ろに実はもうちょっと詳しい資料が。今回は配布しません。これ、細かいデータというか、金額が入っているデータなので、オープンにしたいところもありまして、今回はオープンにしていませんけども。今の利用者の会に来ている自治会長さん、それから管理組合長には全部お渡しをして、それぞれの管理組合なりに対応してほしいということで。

じゃあ、どんな対応するかと言ったら、まず1番目、世帯当たりの量をふやすか。例えば、実際に効果が今出てるのが、緑2という420世帯もある大きな集団があるのですが、これは子供会がやってると、管理組合はやってないことがわかりましたので、この資料を見て早速動いている方がおられまして、管理組合としてもやっていこうと。そういうことがふえると、当然、集団回収の量がふえてきます。

それから、お金ですけども、これも初めてわかったのです、調査で。あるところはほんとに賢くて、うまいこと交渉して、市からもお金をもらい、しかも業者からももらっているということです。ですから、これも一度それぞれの管理組合、自治会が、業者さんと交渉してほしいと、今、お願いをしております。ただし、業者にはこのデータを見せるなど。口頭で説明しながら、もう一度その辺を交渉したらどうでしょうかということをやっています。

それから、集団回収でやっぱり問題なのは、雨が降ったときの段ボールとかをどうするのやという話があるわけです。私たちのマンションは、たまたま軒先があるのですが、そういうところがないところがありますし、その細かい話で、それぞれの自治会、管理組合はノウハウを持っています。朝の6時に連絡をすとか、いろんな話を、細かい話を聞くと、それぞれ工夫されていますので、その辺も情報をシェアしたらどうでしょうかと。

それから、回収の期間。通常は月2回がメインだったのですが、あるところは月8回やっているのです。週1どころか月8回。どういうふうにしているかと聞いたら、2つの回収業者を使っているのです。そうすると、1つの回収業者が毎週この日に来る、何曜日って。もう一つの業者は違う日に来るということで、合計8回と。そういう工夫しているところもありますので、小さいところは無理でしょうけど、やはり毎週来ていただいたほうがいいかなと私は思っています。

それから、ごみを、アルミの缶とか、うちのところも来ているのですが、おじいちゃんが自転車に乗って缶をとりに来るのです。大きな袋、自転車の左右にでっかく3つ

ぐらい積んで、よろよろしながら持っていかれる。今は見て見ないふりをしているのですが、本当はいけないですね、盗難行為になりますので。その辺、アルミは特にキログラム60円という相場がありますので、その辺も含めて、少し組合で工夫する。

6番目は、今後の問題として、やはり超高齢化になっていますので、次の方をどうするかという問題も少しずつ考えましょうと。

こういう提案を利用者の会全体にしております。ということで、最終的には集団回収の量をふやすと。それから、利用者の方々もメリットがあると。そういうことを各管理組合、自治会を通じてやっていこうということを、今、お願いをしております。

以上、ご質問があれば。

○利用者の会 御苦労さまです。

1つ、この2017年度のデータで、1から7までいろいろあるのですが、この辺は、住民起因トラブルの関係もあって、1位の段ボール・紙投入、新聞やとか教科書、5番にも古着ういか衣類投入がありますね。この辺データが出ていまして、これは異常として出てきていない。下のほうには、もう、これ氷山の一角で、もう住民でも、やっぱり日ごろから、段ボールなんか切ってほかしているとか、表面に出てこないところもいっぱいあると思うのです。ですから、この辺、また、収集事業課の方ですか、その辺にも、この辺の燃えるごみ、燃えないごみとか、私たちのところもやっているので、何かその辺で気づいたことなどあったら、またその辺も参考、参考と言うたらおかしいですけど、また聞いといていただけたらありがたいなと思っています。

それと、1点聞きたいのですが、こないだの台風の後、前もそうやったのですが、この南芦屋浜のビーチに、タイヤやとかプラ、いろんなプラスチックありますわ、容器やとか何やかんやいっぱい流れてきて。何か最近多くなつたと違うかなという印象です。やっぱりあれも、日本でもそうやけど、G20でも、海洋プラ、今、2050年か、忘れたけど、ゼロ化しようみたいなこと言うてますけど。芦屋市も同じやと思うのですが、その辺、もし何か、今、取り組まれているところがあるのであれば、教えてほしいと思います。

○市 藪田です。

海洋プラスチック問題について、芦屋市として何か取り組んでいるのかということですが。

○利用者の会 そんな大げさな内容のあれでもなですけど。

○市 あんまり大きなこと、まだできてないというのが正直なところですけども、まず、自分たちから取り組もうということで、市役所として、例えば、芦屋市が開催している審議会など、かなりたくさん会議を持っているのですけども、そこで出すお茶。今まではペットボトルを各委員さんに配っていたのですけども、それを廃止すると。湯飲み茶わん使って、プラスチックごみを出さないようにしようということを今年の5月から全庁的にやっています。

あと、市役所でいいますと売店。買い物したときに、袋、レジ袋入れて渡すのですけど、それも廃止しています。

それともう一つは、食堂の中にあります喫茶店。あそこのストローも、今まではプラスチックストローやったのですけど、紙ストローに変更したということで、職員も含めて、まずは自分たち行政のほうで取り組もうと。そういう状況です。

○利用者の会 ぜひよろしくお願いします。

○利用者の会 ありがとうございます。

それ以外に。

大田さん、どうぞ。

○利用者の会 御苦労さまです。

利用者の会として、トラブルゼロ化ということで、これ山口さんがつくられていますけど。一番心配しているのは、教えてもらいたいのですけども、新しく芦屋に転居されてこられた方、特にパイプライン地域の方に転居されてきた方、この方たちに対して、鍵の場合、鍵を管理センターにとりに来てもらって、買ってもらうよというときに、何らかのそのパイプラインを利用する上での注意事項とか、その辺のマニュアルみたいなものを配布されているのかどうかと。

利用者の会としても、以前つくられたマニュアルが500部ぐらい、まだ残っているということなので、できたら管理センターで鍵を買ってもらうときに、同時にそのマニュアルをお渡しして読んでもらうという方法もあるのじゃないかと考えているのですけども、この辺のところを市としていかなものかということですけども。

○市 藪田です。

引越しされてきた方というのは、住所変更とかという手続が必要になってくる都合で、市役所の市民課に行って手続していると思うのです。そのときに、この家庭ごみハンドブックをお配りさせてもらっています。多分その際に、これだけじゃなくて、ほか

の何かの資料も一緒にたくさんお渡ししていると思うのですが、ごみに関係するところでいくと、この家庭ごみハンドブックをお配りしております。

この中にパイプライン地区にお住まいの方へというのが少しページを割いてあるのですが、抜粋した書き方していますので、これ以上詳しいものは市のホームページをごらんくださいという書き方をして、使い方をお知らせしていております。

○**利用者の会** 先ほど言った利用者の会で作っているマニュアルを、管理センターへ鍵を買いに来られたときに、同時にお渡しして読んでいただくという形をとれないかどうかと。

○**市** 全員がここに鍵を買いにこられるわけではないのです。例えば、高浜とかであれば、管理センターが鍵を持っているので、入居された方はそこでもらう形になるのです。ここに来て700円払ってというのは、それ以外の地区で鍵をなくした方が来られる形で、新規入居者に関しては、基本的にはこちらに来ることはない。

○**利用者の会** ダイエーの南側の管理センター。

○**市** はい。あそこに関しましては、かなり大世帯というか、特に外国人の方も多いというので、ごみハンドブックを渡したりとか、パイプラインの使い方の冊子を渡したり、また、外国語版を渡させてもらって、入居者に説明してくださいというのは、何度か行って話をさせてもらっています。

○**利用者の会** それは実行されているのですか。

○**市** 実行していると思います。

○**利用者の会** そこに利用者の会で作ったファクトブックとかを同時に配ってもらうことは可能なのか。

○**市** 依頼することは可能です。ただ、部数がそれなりには必要になってくると。

○**利用者の会** いや、500部あります。

○**市** エネルギーサービスは、あそこは市の施設じゃないので、断言は難しいですけど、協力してくださいと依頼はできると思います。

○**利用者の会** というのは、いろいろ、トラブルゼロ運動を我々として一生懸命やっても、転入してくる人は、そういうことは知らないよと。やっぱり知ってもらうことの啓蒙をするためにも、パイプライン地域に住まれているかた用のファクトブックを、そこで配布してもらうのが、やっぱり一番手っ取り早いと思うのですが。

○**利用者の会** 利用者の会の山口です。

大田さんの指摘は非常に大切なお話で、住んでいる方じゃなくて、これから芦屋市に住まれる、パイプライン地域に住まれる方に対して、どんな情報をしたらいいのかということで、これはいろいろ、今、検討しています。

実は、私がそれをまとめていまして、3段階あるのです。まず芦屋市が最初にあるのです。芦屋市がそこで、じゃあ、どんな情報をどうしているのか。次に、それぞれの、例えば住宅公社とか、いろいろありますよね、県営とか。そこでどんな情報をどうしているのか。鍵はどこで渡しているのかと、2段階がある。3段階目に、それぞれ管理組合や自治会があって、そこでどんな情報を渡して、どうしているのかと。この3つの段階は調査しないとけないのです。

私のほうで、芦屋市を、まず今、ずっと調べているのですが、芦屋市は、このごみハンドブックを配っているということですよ。ホームページで見たら、こういうのは出せないっていっぱい書いてあるのですが、こういうのを渡しますよというのは何も書いてない、私が調べた段階では。だから、その辺は。

それから、例えばこれ、私たちボランティア、ポストに入っていますが、これは配ってあるのですか、新しく入った方に。これ大切ですよ。だって、いつ捨てたらいいのか全部書いてあるので。

○市 ごみカレンダーは年に1回ぐらい出しているのかな。

○利用者の会 年に1回です、1年分。物すごく大切に、私、張っているのですよ、これ、ずっと。

○市 内容は町によって違います。

○利用者の会 うん、違うね。

○利用者の会 違うね。

○利用者の会 これは若葉町。

○市 ちょっと所管が収集事業課なので、渡しているかどうかわからないですけど、多分お渡ししていると思います。

○利用者の会 そうですか。

○市 そうしないとわからないと思うので、何曜日というのが。

○利用者の会 そうそう。それで、今、思っているのは、市が全てそれを把握して渡すのが一番いいのですが、いろいろセクションの問題があるという難しい点があるので、まず現状をきちっと把握しましょうと。それぞれ3つの段階があるので、それぞれの

3つの段階で、何を渡してどんな情報をどうしているのかと。

例えば、私が心配するのは、ホームページで見たのですが、たしか住宅公団は、40年前の資料を渡しているのです。ホームページ見たら40年前のパイプラインの説明なのです。何でも捨てていい時代のものなのです。それを渡している可能性があるのです。ホームページ、私、見ました。そしたら、40年前の古い、もう汚い、PDFもない時代の。

○市 ホームページであげている。

○利用者の会 そうです、そうです。

だから、その辺も含めて、まずこれは実態調査からしないと始まらないということで、きちっとまとめて、また報告します。

何か改善できる点があれば、市に御協力を得て、なるべく新しく入った方に対する情報漏れがないように、これをしたいと、今、思っております。

○利用者の会 ありがとうございます。

大田さん、どうぞ。

○利用者の会 ごみステーションの燃えるごみの日、燃えないごみの日ということでスケジュール表を書かれていますけども、その中で一番我々としては進めていきたいのは、集団回収を今後進めていきたいということで、このスケジュール表だけ見たら、ただ燃えるごみ、燃えないごみだけでもって、この燃えるごみとか燃えないごみの中でも、集団回収にごみ出してもらったら、管理組合とか自治会の収入になる部分になるので、投入口のごみの量をとにかく減らして行って、事故を減らしていきたいということで、この辺のところも考慮していただきたいということです。

○利用者の会 それで、私、先ほど、山口さんがまとめたこの中で、段ボールや古着で、収集事業課に確認していただきたいと、そういう意味なのです。燃えるごみの日、燃えないごみの日。その中に、やっぱり、回収されていったときに、これはやっぱり資源ごみのそっちのほうへやるべきやとか、そういう経験、収集作業員はひよっとしたら持たれているのと違うかなと思うのです。そやから、ぜひ、また収集事業課にも、その辺、今、大田さん言われたように、燃えるごみの日、燃えないごみの日も、このカレンダーで集めたときに、そういう住民に改善を要請することないかなということです。そやから、ぜひ、その辺、収集事業課に確認をよろしくお願いします。

○利用者の会 一応、下に書かれていますけど。でもペットボトルでも、ここの外見たら、

ペットボトルばかり回収されていますね、山のように積まれていますよね。そういう形で、ステーションに捨てられたとしても、こちらのほうで仕分けというのか、されているのがよくわかるのですけど。各自治会とか管理組合で、集団回収としてペットボトルも回収していると思うのですけども、一部。業者として受け入れできるところがあるみたいですが、業者として。我々自治会としてはペットボトルやっていないのですけども、業者として受け入れは可能であるともなっているし、この辺のところもどうなんかなということもあるのですけど。

日韓が非常にもめていて、ペットボトルの回収を、買い取りを韓国がしないという話も進んでいるし、中国も、資源ごみかな、そういう回収をしないよということで、いろいろと問題が余談としてあるわけですので。

○利用者の会 ありがとうございます。

今の件で一言だけ言わせてください。

やはり去年のあれで、市条例で、今後、長期間という大英断がされたのです。ですから、市の方も、ハンドブックで、社会資本を長くもたさないといかんというので、現状は非常に大変な状況だよと。それを御理解した上で住民の方に、このパイプラインに住まわれる、新居の方ですか、にお話しすると。そういう形で、やっぱり市の方針に従って、それを理解していただける。その現状をこの私どもが作成した、パイプの中の痛みぐあいとか、その詰まりぐあいであるとか、それが記載されていますので、そういう形での配布をお願いしたいということでございます。

済みません。また御検討よろしく願いいたします。私どもはいつでも動きますので、よろしく願いいたします。

続きまして、次の議題5、パイプラインの運転に関して、資料6。山口様からお願いします。

○利用者の会 資料6を見ていただきたいと思います。

これは現在のパイプラインの運転時間で、確認のために、皆さん、これを基本的に知っていただくために、林さんからいろいろ教えていただいて、利用者の会でまとめたものです。もう時間も時間ですので、運転時間は、月曜日だけは前回の協議会で決まりましたように、5時半からを4時半にして、南芦屋の地域の戸建てのほうもそれに含めると変わったということがあります。

それから、まことに申しわけなかったのですけど、深夜の時間帯が使えないというの



は知らなくて、こういう時間帯が、23時から3時ごろまでは使えない。ただし、それぞれの管理組合、自治会で決めたルールを優先してくださいとなっています。

こういう形で、全員がこの運転時間がどうなっとなるのかを理解するという事によって、私たちのホームページでもこれを載せています。

同時に、アンケートをとったときにリクエストがありまして、まず、日曜日の運転をしてほしいというリクエストが非常にあったので、利用者の会で日曜日やりましょうとか、ほかの曜日でどうですかとかいうお話をしたんですけども、寝ている子はおこさないでおっしゃいまして。せっかく日曜日これでやろうとして、今、動いていて、徐々に習慣化もやっているわけです。確かに不満はいろいろあるでしょうけども、新しい習慣をつくろうと動いていますので、またそれをもとに戻すのはよくないとおしかりを受けまして、日曜日はもう現状でいきましょうということになりました。

それから、火曜日から金曜日まで、土曜日まで、これも4時半からしたらどうかと私のほうで提案したのですが、いや、もう5時半でええとおっしゃいましたので、それもいじらず、何か特別なことがない限りはこれでやっていったらどうかということで、皆さんの御理解を得ました。

ただし、先ほどの運転報告がありましたように、早朝の自動運転は非常にトラブルが多いと。一番心配は、やっぱりアンケートで書いていましたように、通勤時間帯の人が捨てられないのが一番困ると、朝。それだけはやっぱり、今後、もう少し時間をこらすよりも、トラブルを少なくすることが大切かなと思いました。

以上でございます。

○利用者の会 ありがとうございます。

ただいまの御説明に御質問のある方はどうぞ。

無いようでしたら、次の議題6、4月のゴミパイプライン協議会のTO DO LIST、資料7に関しまして、山口さんから御説明をお願いします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

資料7、市とこういう協議会をやっているのですが、言いつ放しで終わると非常に時間ももたないないので、やはりそこで決めたこと、言ったことはきちっとまとめて、その後どうなっているのか、言いつ放しで終わっているのじゃないとか、いろんなものがありまして、4月から、議事録を見ながら、一応ここに、こんなことを決めましたよね、こんなことをすると言いましたよねというのを確認のために、そうい

う、今回は12ありますけど、4月の議事録から拾い出しをして、これをきちっとやっているかどうかを、やっていくということを前回やろうじゃないかということで、ここに、11番目に協議会のTO DO LISTの作成でもって、今回、初めてこれを行ったのです。

これをやると、市も私たちも大変です。言いつ放しでやるのが一番楽ですけど、それではやはり問題があるだろうということで、言ったことはきちっとフォローしていくということで、ここに、今回、12番目を書きました。

ちょっと下からいきます。12番目、議事録に配布された資料を必ずホームページで添付しましょうと。今回7枚ありますけど、これも必ず、議事録ができれば議事録と一緒に資料ということで、今、4月の分はちゃんとできていますので、皆さんどなたでも見るができるということで、これは済みとなっています。

11番目も今やっています。これも済み。

それから、パイプラインの運転報告で、レベル設定とか、外部費用とか、利用者起因の印とか、そういうのを、今回見ていると、ほぼできているかなと私自身は思いました。

ただ、外部の費用がかかった部分は、まだそのようなことは起こっていないかな、まだ具体的にはないと思いますけど、ほぼ、レベルの設定はA、B、Cになっていますし、利用者起因も印がついていると思います。

ちょっと見ましようか。星印でしたよね、住民起因。これもちゃんと入っていますので、これも済みと。

それから、8番、長期計画の番号、1ページの中、ずれている番号がありましたので、これも修正するという事です。

それから、輸送管内での人の作業の有無ということで、これはもうワーキング・グループで、今後、検討していきます。

それから、接触不良・通信関係・電装関係のマニュアルを検討するという事で、チェックリストを前回につくっていただいて、これに基づいて今後は作業していただく事に決まりましたので、それもつくっておられますので、これも済みと。ただ、これで終わるのではなくて、今後ともトラブルがあるごとに、それをよくなるように改善していこうということです。

1から5に関しては、市でどんな状況か説明していただきたいと思います。

○市 芦屋市の林です。

ナンバーでいいますと1から4に関しては、私も議事録見ていたら、ほぼ同様のことを話しておりまして、主なものとしては、このときは1214-3の弁の開異常、14回あったやつ、どうしよう、どうしようという話の中で、この中で工具をつくったり、マニュアルを作成したり、日常点検に突っ込んだり、排出弁の作業を整理する。そういった中で、私どもでこういった形で、発生したら、まずモニター確認。それでも連発するようであれば、3回までには必ず現場に行きましょうというルールを。また、何をチェックするのか、リミットスイッチの位置。最初、これで設定して、戻ったらまた設定、またの設定やっていたので、とりあえずこれだけのチェックリストをつくりましたので、これどうしようかという部分。それでもだめでしたら、また次のチェックリストがありまして、これを何回か、再度、確認した上で、それでもだめでしたら、もう本社の支店のほうに相談して、外部の業者を呼べないかという、こういったフローをつくりました。これ、現場で調整をして、今後、作業していこうというのが1から4になります。

5番に関してですが、コインマスターのトラブルの解決の検討を行う。これ、前回、ワーキング・グループで、山口さんにお渡しさしてもらったのですが、鍵の使い方。私と藪田とか、相談して何かができないかというのがあって。

投入口の鍵というのが、鍵のところに小さく掘られているのですが、開、閉というところがあるのです。しかし、それやっぱり見にくいんじゃないかという意見がありましたので、こういった赤丸のシールを張って、ここまで戻してねというのをできないかというのを前回のワーキング・グループで提案をさせていただきまして、その資料を利用者の会の方には1部お渡しさせていただきました。そのとき、山口さんも同様の資料をつくっていただいていたので、それで。

こういう形ですね。本来ではここに閉と書いているのですが、ここに赤丸の何かシールを張って、ここまで戻してくださいというこの張り紙を張って、ここにもシールを張ったら、見える化というか、そういった形で改善できないかという検討を行いますと。

また、これも前回お渡ししたのですが、次回ぐらいに、またお話しできたらなと思っています。

○利用者の会 やりましょう。

○市 お互いで考えて資料を出し合ったので、いいところ取りして、いい資料ができたらと思っていますので、そういった形、ナンバー5まで、その後の報告をさせていただきました。

○利用者の会 鍵の問題は、限られている投入口なので、全部の投入口でやる必要はないですね。

○市 そうですね。おっしゃられたとおり、今のデータを見て、ポイント、ポイントでやっていて、やった上では、また、それをフィードバックして次に生かせれたらと思っております。

○利用者の会 どうもありがとうございました。

何か御質問ございますか。

なければ、本日最後の議題です。次回の協議会のスケジュールに関しまして、ちょっと先ですけれども、10月12日の土曜日、10時から、場所はこちらで。

森田部長、藪田課長も御都合よろしいでしょうか。

皆さんもよろしいですね。そしたら次回も。

○市 この日は行事が予定されているのですが、調整します。

○利用者の会 そうですか。

○市 ちょっと遅れるかもわかりませんが、結構です。

○利用者の会 そしたら、仮ということで、10月12日ということで、場所はこちらということで、最終的に調整つきましたら、またこちらに御連絡いただければと思います。

はい。春木さん、どうぞ。

○利用者の会 済みません、1点だけ。どうしても言いたかったことがあるので。御苦勞さんです。済みません。

1点だけお願いしたいと思うのですが。今回、輸送管、これ決めて、修理していただくということで、ちょっと気になることですが、それを含めたら、一応10年間で、年平均2億6,000万、当初の10年間は要るやろうということで、そういうホップ・ステップ・ジャンプのホップの計画やったと思うのですが。今回それをやったら、平均を1年目で超えるのと違うかなと、今ちょっと危惧しています。私がこんなこと危惧する必要はないのかもわかりませんが。

それと、ちょっと気になっているのが通気運転です、送風機の。これ、前にいただいたブロワーの運転時間、4月、5月、これまとめてもらっているのですが、通気運

転が意外と多いなという気がしているのです。例えば、4月の23日いうたら727分も運転していると。普通5時間やから300分ですね、1日。それからしたら倍ぐらい運転しています。今回もとまっていますね、通気運転していますね。その辺のダメージいか損失を、もし、もうオペレーターの人が把握していて、日報に書かれているのであれば、またそれもオープンにしてほしいです。それ、またそれちょっと調べといてください。もし手間がかかるのであれば、集計の結果の想定で出すことになるので。これは一番最初に、平成26年度のときに市が言った、コストとCO<sub>2</sub>排出量、べらぼうに多く、高い、その対応でCO<sub>2</sub>にもつながってきますので、よろしくお願いします。済みません。

○利用者の会 ありがとうございます。

また御検討のほどをお願いいたします。

それでは時間となりましたので、第26回ゴミパイプライン協議会をこれにて終了させていただきます。

本日、皆さん、どうもありがとうございました。